



はしがき

- 1 | **刑事政策の概念** 朴 元奎 1
木村亀二「**刑事政策の概念**」『**刑事政策の基礎理論**』（岩波書店、1942年）3-91頁
- 2 | **刑事政策の主体・対象** 朴 元奎 14
藤木英雄「**現代刑事政策の課題**」宮澤浩一ほか編『**刑事政策講座 第1巻 総論**』（成文堂、1971年）1-16頁
- 3 | **刑罰理論** 中村悠人・松宮孝明 27
クラウス・ロクシン [宮澤浩一監訳]「**国家の刑罰の意義と限界**」『**刑法における責任と予防**』（成文堂、1984年）1-47頁
- 4 | **死刑** 辻本衣佐 42
団藤重光『**死刑廃止論〔第6版〕**』（有斐閣、2000年）
- 5 | **自由刑** 赤池一将 55
ミシェル・フーコー [田村徹訳]『**監獄の誕生—監視と処罰**』（新潮社、1977年）
- 6 | **財産刑** 永田憲史 68
小野坂弘「**罰金刑制度の再検討(1)~(4・完)**」法学29巻3号（1965年）64-101頁、29巻4号（1965年）77-100頁、30巻2号（1966年）19-77頁、30巻3号（1966年）19-50頁
- 7 | **保安処分** 川本哲郎 80
中山研一『**刑法改正と保安処分**』（成文堂、1986年）
- 8 | **刑事司法のモデル論** 葛野尋之 91
田宮裕「**刑事訴訟におけるモデル論**」松尾浩也・芝原邦爾編『**内藤謙先生古稀祝賀 刑事法学の現代的状況**』（有斐閣、1994年）355-381頁
- 9 | **刑事司法の日本の特色** 小木曾綾 106
平野龍一「**現代刑事訴訟の診断**」平場安治ほか編『**団藤重光博士古稀祝賀論文集 第4巻**』（有斐閣、1985年）407頁

- 10 | **日本の警察の特色** 田村正博 118
宮澤節生『犯罪捜査をめぐる第一線刑事の意識と行動——組織内統制への認識と反応』（成文堂、1985年）
- 11 | **微罪処分とデイヴァージョン** 服部 朗 131
荒川雅行「デイヴァージョンと刑法に関する一考察——警察における微罪処分を中心として」法と政治38巻3号（1987年）421-466頁
- 12 | **検察の特色** 川崎英明 144
デイビッド・T・ジョンソン [大久保光也訳]『アメリカ人のみた日本の検察制度——日米の比較考察』（シュプリンガー・フェアラーク東京、2004年）
- 13 | **起訴猶予制度** 岡本美紀 153
三井誠「検察官の起訴猶予裁量——その歴史のおよび実証的研究(1)～（5・完）」法学協会雑誌87巻9・10号（1970年）1-48頁、91巻7号（1974年）37-81頁、91巻9号（1974年）1-47頁、91巻12号（1974年）1-46頁、94巻6号（1977年）98-151頁
- 14 | **量刑理論** 小池信太郎 167
原田國男『量刑判断の実際〔第3版〕』（立花書房、2008年）
- 15 | **執行猶予** 太田達也 180
正木亮「刑の執行猶予とその過去・現在および将来」『刑法と刑事政策〔増訂版〕』（有斐閣、1968年）117-144頁
- 16 | **矯正処遇の基本理念** 安部哲夫 193
石原明「受刑者の法的地位考察の方法論——将来の行刑のために」刑法雑誌21巻1号（1976年）1-20頁
- 17 | **受刑者の法的地位** 石塚伸一 206
フロイデンタル [小川太郎訳]「囚人の国法上の地位」亜細亜法学8巻1号（1973年）122-130頁
- 18 | **刑務所社会** 浜井浩一 218
ジョン・ハワード [川北稔・森本真美訳]『十八世紀ヨーロッパ監獄事情』（岩波書店、1994年）
- 19 | **刑務作業** 本庄 武 230
吉岡一男「刑務作業」法律時報48巻7号（1976年）31-36頁
- 20 | **社会内処遇** 金澤真理 243
瀬川晃『犯罪者の社会内処遇』（成文堂、1991年）

21	保護観察	小長井賀與	256
	菊田幸一『保護観察の理論』（有信堂、1969年）		
22	仮釈放	太田達也	269
	森下忠『仮釈放』平場安治・平野龍一編『刑法改正の研究1 概論・総則——改正草案の批判的検討』（東京大学出版会、1972年）306-317頁		
23	少年法の理念	川出敏裕	281
	森田宗一『少年保護事件における調査審判の理論と実際』司法研究報告書4輯4号（司法研修所、1951年）		
24	少年矯正	後藤弘子	293
	広田照幸・古賀正義・伊藤茂樹編『現代日本の少年院教育——質的調査を通して』（名古屋大学出版会、2012年）		
25	少年法改正	武内謙治	307
	守屋克彦『少年法改正の歴史と少年法』齊藤豊治・守屋克彦編著『少年法の課題と展望 第1巻』（成文堂、2005年）1-36頁		
26	犯罪予防モデル	伊藤康一郎	321
	オスカー・ニューマン [湯川利和・湯川總子訳]『まもりやすい住空間——都市設計による犯罪防止』（鹿島出版会、1976年）		
27	再犯防止	辰野文理	333
	染田恵ほか『法務総合研究所研究部報告42 再犯防止に関する総合的研究』（法務省法務総合研究所、2009年）		
28	被害者学	太田達也	348
	宮澤浩一『被害者学の基礎理論』（世界書院、1966年）		
29	修復的司法	高橋則夫	362
	ハワード・ゼア [西村春夫・細井洋子・高橋則夫監訳]『修復的司法とは何か——応報から関係修復へ』（新泉社、2003年）		
30	比較刑事司法	朴 元奎	376
	ウィリアム・クリフォード [藤原藤一訳]『アジアにおける比較刑事司法の発展』犯罪と非行54号（1982年）59-79頁		